

液体融雪剤 SRブラック

抜群の融雪効果で除雪作業の手間がはぶけ、除雪経費を削減できます!
また、安全性も実証されています。

SRブラックとは…

製品詳細やドローン散布動画は
こちらから▶



- カーボンブラックを主成分とした、光吸収タイプの液体融雪剤です。
- 高効率で光を吸収し、熱に変換して雪を溶かします。
- 実験の結果、植物(注)に対して濃度障害や発芽への影響はありませんでした
(注)ベンクロスベント芝、コマツナ幼植物に対する試験結果、ゴルフ場などの散布実績による



(散布量: 250ml/m² (200倍稀釈))

— 使用方法 —

- SRブラックを水で適度な濃度に稀釈し、雪面上に噴霧するだけで融雪効果が得られます。
- 超微粒子分散しているため、汎用噴霧機で使用可能です。
- 推奨稀釈濃度は、200~600倍です。ただし、積雪量や気候条件により最適濃度は異なります。
- 推奨散布量は、250ml/m²です。ただし、積雪量や気候条件により最適散布量は異なります。



(サイズ: W.300mm×D.300mm×H.290mm/バックインボックス入)

主成分 カーボンブラック・水 pH 中性域5.4~6.5(原液)

注意点

- 原液及び稀釈液は、衣服等に付着するととれません。
- 皮膚についた場合は、水道水で洗い流して下さい。
- 目に入った場合は、直ぐに水道水で洗った後、医師の診断を受けて下さい。
- 誤飲にご注意下さい。
- 密封し、直射日光を避けて冷暗所に保存して下さい。
- マイナス五度以下で凍結する恐れがありますが、品質には問題はありません。
- 小児、子供の手の届く所には保管しないで下さい。

品番	品名	色/型	本体価格	JAN	単位
CA11-980	SR ブラック	18ℓ	—	4901427010558	1

●製品の仕様及びデザインは改良等の理由により予告なく変更する事があります。

「クレタケ・テクノロジー」による超微粒子高分散技術をご活用下さい。
詳しくは、URL:www.kuretake.co.jp/osusume/default.html

ご用命は…



SRブラックの融雪効果(勝田PGC調べ)

試験方法

- ①日時、所 昭和62年1月6日 勝田PGC、ベントグリーンナセリー
- ②芝の種類 ベンクロスベントグラス
- ③造成植え付け年数 昭和60年9月播種
- ④刈高 6.0mm
- ⑤土性 砂
- ⑥気象 1月5日積雪、1月6日最高気温1.5℃ 最低気温-2.5℃ 晴れ
- ⑦SRブラック稀釈倍率 200倍、400倍、600倍稀釈
- ⑧散布量 250ml/㎡ (稀釈時)
- ⑨散布方法 加圧噴霧

テスト時の気温(1月6日)

	地 中 温 度		気 温
	地表温度	地中5cm	
8時	1.5℃	3.3℃	-2.5℃
12時	2.8℃	3.8℃	1.5℃
17時	4.5℃	6.0℃	0.8℃

日射量(1月6日)

時 間	9~10	10~11	11~12	12~13	13~14	14~15	15~16
cal/cm ² /min	20.8	31.2	38.1	30.0	16.2	2.3	1.3

各稀釈倍率における融雪効果

経過時間	積 雪 量 (cm)					
	0 hr	1	2	3	4	24.5
時 間	A.M. 9:30	A.M.10:30	A.M.11:30	P.M. 0:30	P.M. 1:30	A.M.10:00
200倍稀釈	9.0cm	1.5	0	0	0	
400倍稀釈	9.0	2.5	0.8	0	0	
600倍稀釈	9.0	3.5	1.5	0	0	
ブランク	9.0	8.5	6.5	4.0	3.5	0

積雪90%、2.5℃~1.5℃、晴れの条件下で融雪効果をみると未散布に比べ、格段の融雪効果がある事がわかる。稀釈は、400~600倍程度で十分な効果が認められた。

SRブラックの融雪効果(当社調べ)

試験方法

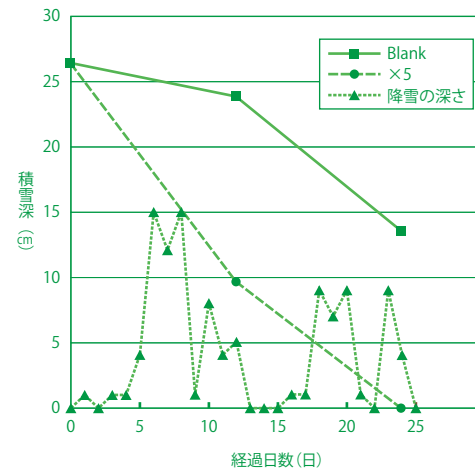
- ①日時 2006年1月16日~2月9日
- ②対象地 田圃
- ③SRブラック稀釈倍率 5倍稀釈
- ④SRブラック散布量 250ml/㎡
- ⑤散布方法 電池式噴霧機

経過日数と積雪深の関係

(単位cm)

	1月16日	1月28日	2月9日
日数	0	12	24
Blank	26.4	23.9	13.6
×5	26.4	9.7	0

ブランクと比較すると、SRブラックの融雪効果は明らかである。



濃度障害試験

(財) 関西グリーン研究所調べ

試験方法

- ①日時、所 平成15年4月17日~6月13日 (財) 関西グリーン研究所試験場
- ②芝の種類 ゴルフグリーン状に低刈り込んだベンクロスベントグラス芝
- ③造成植え付け年数 約5年経過
- ④土性 海砂に土壌改良資材が混入されたもの
- ⑤散布量 40ml/0.1㎡
- ⑥散布方法 電池式小型噴霧器を使用
- ⑦調査測定 観察及び写真の撮影

地上部、地下部及び合計の乾燥重量測定結果

(単位:g)

処理区No.	1	2	3	4	5	6	7	
稀釈倍率	原液	20倍	40倍	80倍	160倍	320倍	640倍	平均
地上部	0.37	0.43	0.64	0.48	0.49	0.49	0.59	0.498
地下部	0.78	0.67	0.31	0.68	0.57	0.75	0.24	0.571
合計量	1.04	1.10	0.95	1.16	1.06	1.24	0.83	1.054

標準偏差値は、地上部は0.091、地下部は0.214、合計量は0.134
処理区間の差は無く、最も問題と思われる原液処理区でさえ、平均値と変わりが無く、SRブラックがベントグラスの生育への悪い影響は無かったことは確かである。

ノイバウエルポットにおけるコマツナ幼植物試験

奈良県農業技術センター調べ

試験方法

- ①日時 2005年6月20日~7月11日
- ②容器 1/10000aノイバウエルポット(500ml)
- ③作物 コマツナ
- ④土壌 中粗粒灰色低地土(水田転換畑土壌)
- ⑤SRブラック稀釈倍率 1倍(原液)
- ⑥SRブラック散布量 3ml/㎡、30ml/㎡
- ⑦施肥 窒素、リン酸、カリ、各25mg
- ⑧播種量 20粒/ポット

試験結果

	No.	発芽率 (%)	発芽率平均 (%)	草丈 (cm)	草丈平均 (cm)	株重/株 (g)	株重/株平均 (g)
Blank (0ml/㎡)	1	85	85	12.9	12.8	0.77	0.71
	2	85		13.0		0.72	
	3	85		12.6		0.65	
3ml/㎡	4	100	92	13.2	12.6	0.81	0.73
	5	90		12.2		0.69	
	6	85		12.3		0.68	
30ml/㎡	7	85	82	12.3	12.4	0.81	0.70
	8	85		11.9		0.57	
	9	75		13.0		0.72	

発芽率、生育に明らかな阻害はみられなかった。このことからコマツナの生育そのものには影響ないと考えられる。